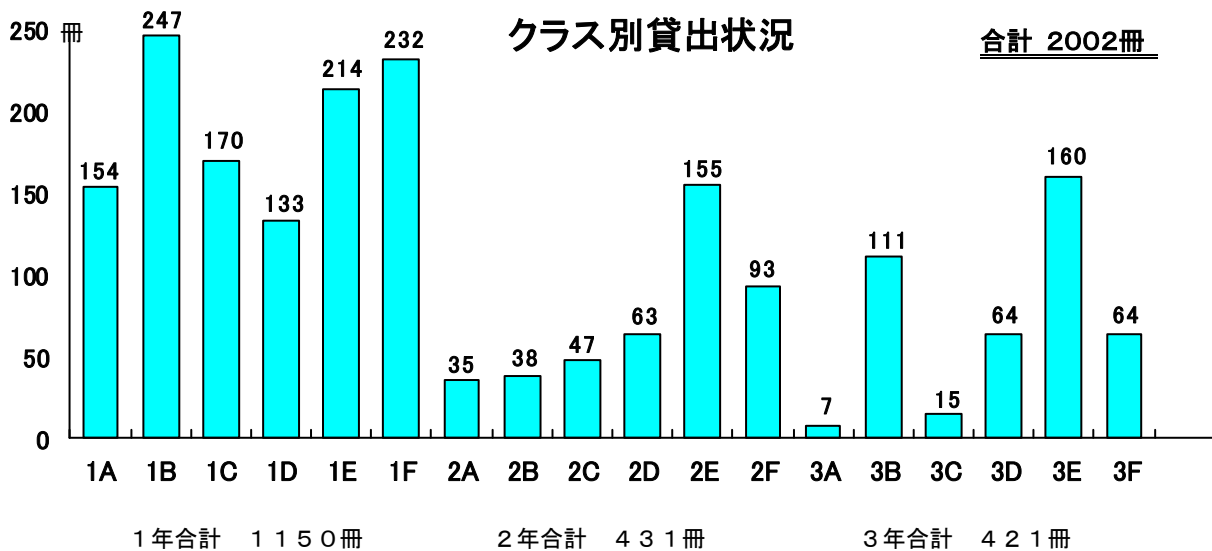




## 図書館利用状況 (4月~12月)



### 個人別貸出ランキング

1位	3B	N. S	53冊
2位	1C	K. H	42冊
3位	2E	M. K	35冊
4位	1B	S. H	33冊
5位	1C	K. H	30冊
6位	1E	S. S	29冊
7位	3E	T. Y	27冊
8位	3B	S. M	26冊
〃	3E	S. R	26冊
10位	1B	S. K	23冊

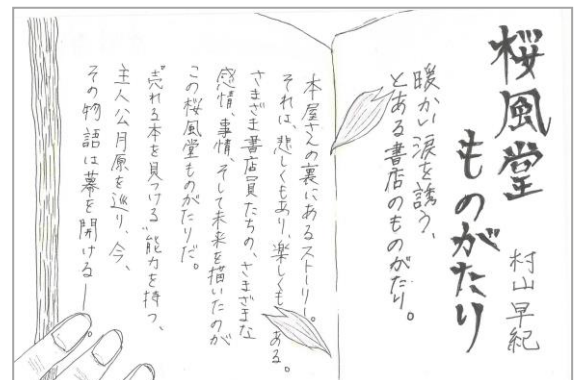
### よく読まれている本

1位	十二人の死にたい子どもたち (沖方丁)
2位	火のないところに煙は (芦沢央)
〃	君は月夜に光り輝く (佐野徹夜)
4位	はたらく細胞 (清水茜)
〃	スターティング・オーヴァー (三秋緋)
6位	僕が電話をかけていた場所 (三秋緋)
〃	恋する寄生虫 (三秋緋)
〃	蜜蜂と遠雷 (恩田陸)
〃	屍人荘の殺人 (今村昌弘)
〃	クジラは歌をうたう (持地佑希子)

KEIOビブリオバトルチャンプ本

### --- 図書委員のおすすめ ---

『ロビンソン・クルーソーを探して』 高橋大輔 著  
 作者の高橋さんの講演を聞いて興味を持ち、この本を読みました。『ロビンソン・クルーソーの冒険』のモデルになった人が実在しているのかを解明していく物語。高橋さんは秋田市出身で、「物語を旅する」をテーマに、世界各地に伝わる神話・伝説(フィクション)とノンフィクションの接点を求めて、旅と著作活動を続けています。 (1B S. N)



(1E S. H)



## 石田園子先生が紹介する “おすすめの一冊”

『星の王子さま Le Petit Prince 』 サン＝テグジュペリ 著

この本は、いわゆる“大人”になってから読むと、すごく心に響くフレーズが沢山あり、何度も読み返している本の一冊です。「肝心なことは目では見えない」「大人は誰でも元は子供だった（そのことを覚えている人は少ないのだけれど）」など…。

一度立ち止まり、その時々自分をみつめなおすことのできる、私にとってはバイブルのような本です。これから皆さんもいずれ社会人（大人）になり、日々の生活に疲れたり悩んだりした時、良かったらこの本を読んでみてください。



岩波書店



## 冬休みの図書委員会活動

◎高校生の読み聞かせ会（1月7日 栗盛記念図書館）



市内3校の図書委員が、絵本の読み聞かせを行いました。前日には桂桜の図書館に他の2校の委員も集まり、リハーサルを行いました。当日は約50人の子どもたちが集まり、今年の干支のネズミが出てくる絵本や子どもたちと一緒に体を動かす絵本などを読み聞かせし、とても喜んでもらえました。桂桜からは7名が参加し、読み聞かせだけでなく、進行役も務めました。

←3校によるコラボ 大型絵本「どうぞのいす」

◎手書きPOP作り研修講座（1月8日 秋田県立図書館）

秋田県立図書館で行われたPOP作り研修講座に図書委員3人が参加しました。

読みやすく目にとまりやすいPOPにするためのレイアウトや色づかい、キャッチコピーのポイントを学びながらPOPを作成しました。

完成したPOPと本と一緒に展示する仕方も教わりました。



完成したPOP



他校の委員と話し合いながらPOPを作る

- ☆ 古本市の売り上げで本を購入しました。『祝祭と予感』『ツナグ 想い人の心得』など、他にシリーズもの(ライトノベル・漫画)の続編も購入しました。詳しい内容は次号で、貸出は来週から可能です。
- ☆ 3年生で図書館から本を借りている人は、できるだけ1月中に返すようにしてください。